⑧畢竟住一乗〇是人於仏道決定無有疑の事

教無量菩薩　畢竟住一乗　是故有智者　聞此功徳利
於我滅度後　応受持斯経　是人於仏道　決定無有疑

↓読み下し

無量の菩薩をして　畢竟して一乗に住せしめん
是の故に智あらん者　此の功徳の利を聞いて
我が滅度の後に於て　斯の経を受持すべし
是の人仏道に於て　決定して疑あることなけん

‖

仏が上行菩薩に付属するときに、
仏が上行菩薩に向かって言った言葉

畢竟　･･･　広宣流布のこと
「畢」も「竟」も、終わる･尽きる･究まる　の意
住一乗　･･･　南無妙法蓮華経の一法に住すべきであるということ
是人　･･･　名字即の凡夫
仏道　･･･　究竟即
疑　･･･　根本疑惑の無明

「ファイン式御義口伝メモ」
http://777fine.web.fc2.com/

畢竟して一乗に住せしめん

「畢竟して一乗に住せしめん」

→広宣流布への予言であると同時に、地涌の菩薩に対する仏意仏勅

畢竟 ‥‥‥ **究まるの意 ＝ 広宣流布のこと**

一乗に住す ‥‥‥ **妙法の心を住処とすること**

↓

五濁悪世に生まれ、現実の世界に生きる以上、
さまざまの泥をかぶることも避けられない。
しかしどんなことがあっても、御本尊、信心に戻って
感じ、行動することが「一乗に住する」ということ。